

15日間の映像とアートの国際フェスティバル 第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル(見えないもの)」詳細プログラム決定！ 平成30(2018)年2月9日(金)～2月25日(日)開催

記念すべき第10回を迎える恵比寿映像祭の全出品作家、詳細プログラムを発表します。

映像体験のいまに会える15日間の国際フェスティバル。
ヴァジュアルなものである映像にひそむ不可視なもの(インヴィジブル)に迫る、
映像表現の新たな地平にご注目ください。



平成 21(2009)年の第 1 回以来、年に一度開催している映像とアートの国際フェスティバル「恵比寿映像祭」。映像をめぐるひとつではない答えを探りながら、映像分野の活性化を領域横断的にめざし、展示、上映、ライブ・パフォーマンス、トーク・セッションなどを複合的に行ってきました。今回で第 10 回を迎え、これまでに参加した作家・ゲストは総勢 840 名以上におよびます。

第 10 回恵比寿映像祭の総合テーマは「インヴィジブル」です。映像は世界を光で照らし出すと同時に、見えないものを浮かび上がらせます。この不可視性＝「インヴィジブル(見えないもの)」をキーワードに、様々な映像のあり方を紹介し、現代を考えていきます。

開催概要

[名称] 第 10 回恵比寿映像祭「インヴィジブル」

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2018: Mapping the Invisible

[会期] 平成 30(2018)年 2 月 9 日(金)～2 月 25 日(日)[15 日間] (13 日(火)、19 日(月)休館)

[時間] 10:00～20:00(最終日は 18:00 まで)

[入場] 無料 ※定員制のプログラムは有料

[会場] 東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、
恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所 ほか

[主催] 東京都／東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本経済新聞社

[共催] サッポロ不動産開発株式会社／公益財団法人日仏会館

[後援] オーストラリア大使館／オランダ王国大使館／カナダ大使館／タイ王国大使館／ミャンマー連邦共和国大使館／
TBS / J-WAVE 81.3FM

[協賛] ANA / ゲート・インスティテュート 東京ドイツ文化センター／サッポロビール株式会社／東京都写真美術館支援会員

[協力] アンスティチュ・フランセ日本 - ヴィラ九条山／ぴあ株式会社／ドゥービー・カンパニー株式会社／株式会社ロボット

[公式ホームページ] www.yebizo.com [公式 Instagram] www.instagram.com/yebizo

目次

開催概要	—	1
恵比寿映像祭とは	—	2
第10回総合テーマ / 会場構成	—	3
参加作家およびゲスト一覧	—	4
見どころ	—	6
ニュース	—	8
出品作家およびプログラム		
展示	東京都写真美術館3F・2F・B1F 展示室	— 10
上映	東京都写真美術館 1F ホール	— 12
展示	日仏会館ギャラリー	— 16
ライブ・イベント	ザ・ガーデンルーム	— 16
オフサイト展示	恵比寿ガーデンプレイス センター広場	— 17
—		
ラウンジトーク	東京都写真美術館2F ロビー	— 17
シンポジウム	東京都写真美術館 1F ホール	— 18
シンポジウム	日仏会館ホール	— 18
—		
地域発信プロジェクト	東京都写真美術館 1F スタジオ	— 19
地域連携プログラム	恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど	— 19
—		
ガイドツアー	—	20
定員制プログラムのチケット情報	—	20
お問い合わせ	—	21

恵比寿映像祭とは

2018年、恵比寿映像祭は第10回を迎えます。

恵比寿映像祭は、平成 21(2009)年の第 1 回以来、年に一度開催している映像とアートの国際フェスティバルです。展示、上映、ライブ・パフォーマンス、トーク・セッションなどを複合的に行い、今回で第 10 回を迎えます。ロゴのオープンなフレームとしてのカッコが象徴するように、映像をめぐるひとつではない答えを探りながら、映像分野の活性化を領域横断的にめざしてきました。これまでに参加した作家・ゲストは総勢 840 名以上におよびます。多くの作り手と受け手がフェスティバルに集うことで、映像表現やメディアの発展をいかに育み、継承していくかという課題について、広く共有するプラットフォームへと成長し続けています。



第10回総合テーマ

インヴィジブル Mapping the Invisible

「芸術とは見たものを表現するのではなく、見えないものを見えるようにすることである」。画家パウル・クレーの言葉を引用するまでもなく、芸術は、目に見えないものを見えるようにすることで、見る側を刺激し、新しい対話をうみだしてきました。一方、光学技術によって誕生した写真や映像は、見えないものを見えるようにするのみならず、実際には存在し得ない対象まで可視化してきました。映画創生期を代表する監督ジョルジュ・メリエスは、自らのマジックショーのなかで映画を上映し、その視覚効果的作品からSFXのパイオニアとも呼ばれています。映画は、現実世界をそのまま映し出すことが難しかった発明当時においては、魔術や幽霊のような存在としても受け止められました。しかし、映像が日常に浸透している 21 世紀の現在において、誰も映像を魔術や幽霊と考えることも、また現実と見間違えることもありません。むしろ、大量のイメージがあふれる現代だからこそ、何が現実をあらわしているかが、見えにくい時代にもなっています。

映像は、光と影によってイメージを映し出すメディアであり、世界を光によって照らし出す一方で、同時に、可視化できない現実を浮かび上がらせる特性をもちます。第 10 回恵比寿映像祭では、映像が潜在的に表現してしまう、この不可視性＝「インヴィジブル(見えないもの)」を総合テーマにすることで、映像の見方の歴史を考察し、現代における「インヴィジブル」を読み解くことから、未来の可能性を探っていきます。

[恵比寿映像祭ディレクター 田坂博子]

会場構成

東京都写真美術館

- ① 3F・2F・B1F 展示室【展示】
- ② 1F ホール【上映】【シンポジウム】
- ③ 2F ロビー【ラウンジトーク】
- ④ 1F スタジオ【地域発信プロジェクト】

東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

日仏会館

- ⑤ ギャラリー【展示】
- ⑥ ホール【シンポジウム】

東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

- ⑦ ザ・ガーデンルーム【ライブ・イベント】

東京都目黒区三田 1-13-2 恵比寿ガーデンプレイス内

- ⑧ 恵比寿ガーデンプレイス センター広場【オフサイト展示】

東京都渋谷区恵比寿 4-20 恵比寿ガーデンプレイス内

- ⑨ 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど【地域連携プログラム】



参加作家およびゲスト一覧

●: 会期中来場予定の作家・ゲスト。 ※予定は予告なく変更することがあります。

	参加部門	参加作家およびゲスト	国・地域			
1	展示/ラウンジトーク	ラファエル・ローゼンダール	Rafaël ROZENDAAL	オランダ/アメリカ	The Netherlands/ U.S.A.	●
2	展示/ライブ・イヴェント	ポール・シャリッツ	Paul SHARITS	アメリカ	U.S.A.	
3	展示	ガブリエル・エレラ・トレス	Gabriel HERRERA TORRES	メキシコ/ポーランド	Mexico/Poland	
4	展示/ラウンジトーク	永田康祐	NAGATA Kosuke	日本	Japan	●
5	展示/ライブ・イヴェント	mamoru	mamoru	日本	Japan	●
6	展示/ラウンジトーク	コティングリー妖精写真および 関連資料	The Cottingley Fairy Photographs and Related Materials	イギリス	U.K.	●
7	展示/上映/上映Q&A	出光真子	IDEMITSU Mako	日本	Japan	●
8	展示/シンポジウム	ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ	Jay CHUNG & Q Takeki MAEDA	アメリカ/ドイツ、 日本/ドイツ	U.S.A./Germany, Japan/Germany	●
9	展示	清野賀子	SEINO Yoshiko	日本	Japan	
10	展示/ラウンジトーク	青柳菜摘	AOYAGI Natsumi	日本	Japan	●
11	展示	ジェームス・リチャーズ	James RICHARDS	イギリス/ドイツ	U.K./Germany	
12	展示/ラウンジトーク	高嶋晋一+中川周	TAKASHIMA Shinichi + NAKAGAWA Shu	日本	Japan	●
13	展示	横溝静	YOKOMIZO Shizuka	日本/イギリス	Japan/U.K.	
14	展示/ラウンジトーク	ナターシャ・ニジック&葦丸謙	Natacha NISIC & DAIMARU Ken	フランス、日本	France, Japan	●
15	展示/ラウンジトーク	マルティヌ・シムズ	Martine SYMS	アメリカ	U.S.A.	●
16	展示/ラウンジトーク	スットヒラット・スバパリンヤ	Sutthirat SUPAPARINYA	タイ	Thailand	●
17	展示	エルカン・オズケン	Erkan ÖZGEN	トルコ	Turkey	
18	上映	ライナー・コールベルガー	Rainer KOHLBERGER	オーストリア/ドイツ	Austria/Germany	
19	上映	イズマイル・バリー	Ismaïl BAHRI	チュニジア/フランス	Tunisia/France	
20	上映	ヨナ・キナ	Jonna KINA	フィンランド	Finland	
21	上映	セバスチャン・パークナー	Sebastian BUERKNER	ドイツ/イギリス	Germany/U.K.	
22	上映	リサ・オッペンハイム	Lisa OPPENHEIM	アメリカ	U.S.A.	
23	上映	ジェームス・N・キニツ・ウィルキンス	James N. Kienitz WILKINS	アメリカ	U.S.A.	
24	上映	メーヴ・ブレナン	Maeve BRENNAN	イギリス	U.K.	
25	上映	ダニエル・ジャコビー	Daniel JACOBY	ペルー	Peru	
26	上映/上映Q&A	荒木悠	ARAKI Yu	日本	Japan	●
27	上映Q&A/ ライブ・イヴェント	ジュリアン・ロス	Julian ROSS	イギリス/オランダ	U.K./ The Netherlands	●
28	上映	マリナ・ヨティ	Marina GIOTI	ギリシャ	Greece	
29	上映	ジョルジュ・サラメ	Georges SALAMEH	レバノン/ギリシャ	Lebanon/Greece	
30	上映	ミディ・ジー	Midi Z	ミャンマー/台湾	Myanmar/Taiwan	
31	上映Q&A	服部かつゆき	HATTORI Katsuyuki	日本	Japan	●
32	上映Q&A	森下明彦	MORISHITA Akihiko	日本	Japan	●
33	上映	レヴ・カルマン	Lev KALMAN	アメリカ	U.S.A.	
34	上映	ウィットニー・ホーン	Whitney HORN	アメリカ	U.S.A.	
35	上映	トゥーパインゾーオー	Htoo Paing Zaw Oo	ミャンマー	Myanmar	
36	上映	シンデーウエー	Shin Daewe	ミャンマー	Myanmar	
37	上映	ゾーモーアウン	Soe Moe Aung	ミャンマー	Myanmar	
38	上映	ラミンウー	Lamin Oo	ミャンマー	Myanmar	
39	上映	アウンミン	Aung Min	ミャンマー	Myanmar	
40	上映	テン・メン	Ten Men	ミャンマー	Myanmar	
41	上映	FAMUワークショップ・チーム	FAMU Workshop Team	ミャンマー	Myanmar	
42	上映	アウントゥ	Aung Thu	ミャンマー	Myanmar	
43	上映/シンポジウム	清恵子	SEI Keiko	日本	Japan	●
44	上映/上映Q&A	スティーヴ・サンゲドルチェ	Steve SANGUEDOLCE	カナダ	Canada	●
45	上映	クレア・ランドル	Claire RANDALL	オーストラリア	Australia	
46	上映Q&A	スコット・ミラー・ベリー	Scott MILLER BERRY	アメリカ/カナダ	U.S.A./Canada	●
47	上映	陳希	Xi CHEN	中国/日本	China/Japan	
48	上映	ドナ・マケリラ・バルサ	Donna Mekerira PARTHA	インド	India	
49	上映	浅野陽子	ASANO Yoko	日本	Japan	
50	上映	ヒーハー・プロダクション・リミテッド	Hehaaa production ltd.	香港	Hong Kong	

参加作家およびゲスト一覧

	参加部門	参加作家およびゲスト		国・地域		
51	上映	やまだみのり	YAMADA Minori	日本	Japan	
52	上映	インフィニティ・デジタル・ クリエーション・リミテッド	Infinity Digital Creation Limited	香港	Hong Kong	
53	上映	矢野ほなみ	YANO Honami	日本	Japan	
54	上映	ウォン・ジン・ヤオ(ヨールプロダクション)	WONG Jin Yao (Yore Production)	マレーシア	Malaysia	
55	上映	タン・リー・ハオ(ヨールプロダクション)	TAN Lih Haur (Yore Production)	マレーシア	Malaysia	
56	上映	コン・ウェイ・チェン(ヨールプロダクション)	KONG Wei Cheng (Yore Production)	マレーシア	Malaysia	
57	上映	ウーン・チー・カイ(ヨールプロダクション)	WOON Chee Khai (Yore Production)	マレーシア	Malaysia	
58	上映	キューライス	Q-rai	日本	Japan	
59	上映	フライチーム	FLY team	タイ	Thailand	
60	上映	イ・ジョンフン	LEE jonghoon	韓国	Korea	
61	上映	スタジオ・イクソラス・ プロダクションズ・プライベート・リミテッド	STUDIO EEKSAURUS PRODUCTIONS PVT. LTD.	インド	India	
62	上映Q&A	竹内海南江	TAKEUCHI Kanae	日本	Japan	●
63	上映	山田亜樹	YAMADA Aki	日本	Japan	●
64	上映／上映Q&A	岡部道男	OKABE Michio	日本	Japan	●
65	上映Q&A	ジョン・M・ホール	Jonathan M. HALL	アメリカ	U.S.A.	●
66	上映Q&A	鈴木章浩	SUZUKI Akihiro	日本	Japan	●
67	上映／上映Q&A	足立正生	ADACHI Masao	日本	Japan	●
68	上映	岩淵進	IWABUCHI Susumu	日本	Japan	
69	上映	野々村政行	NONOMURA Masayuki	日本	Japan	
70	上映	山崎裕	YAMAZAKI Yutaka	日本	Japan	
71	上映	佐々木守	SASAKI Mamoru	日本	Japan	
72	上映	松田政男	MATSUDA Masao	日本	Japan	
73	上映／Q&A	佐々木誠	SASAKI Makoto	日本	Japan	●
74	上映Q&A	加藤秀幸	KATO Hideyuki	日本	Japan	●
75	上映Q&A	田中みゆき	TANAKA Miyuki	日本	Japan	●
76	展示／ラウンジトーク	SHIMURAbros	SHIMURAbros	日本/ドイツ	Japan/Germany	●
77	ライブ・イベント	宮井陸郎	MIYAI Rikuro	日本	Japan	●
78	ライブ・イベント	大城真	OSHIRO Makoto	日本	Japan	●
79	ライブ・イベント	平沢剛	HIRASAWA Go	日本	Japan	●
80	オフサイト展示／ ラウンジトーク	invisible designs lab.	invisible designs lab.	日本	Japan	●
81	ラウンジトーク	井村君江	IMURA Kimie	日本	Japan	●
82	ラウンジトーク	浜野志保	HAMANO Shiho	日本	Japan	●
83	ラウンジトーク	松原健	MATSUBARA Ken	日本	Japan	●
84	ラウンジトーク	飯沢耕太郎	IIZAWA Kotaro	日本	Japan	●
85	ラウンジトーク	木ノ下智恵子	KINOSHITA Chieko	日本	Japan	●
86	シンポジウム	白石嘉治	SHIRAISHI Yoshiharu	日本	Japan	●
87	シンポジウム	ジョン・クラックスマン	John KLACSMANN	アメリカ	U.S.A.	●
88	シンポジウム	ピーター・オレクシク	Peter OLEKSIK	アメリカ	U.S.A.	●
89	シンポジウム	田中信至	TANAKA Shinji	日本	Japan	●
90	シンポジウム	足立アン	ADACHI-TASCH Ann	日本/アメリカ	Japan/U.S.A.	●
91	シンポジウム	落合淳	OCHIAI Jun	日本	Japan	●
92	シンポジウム	三浦篤	MURA Atsushi	日本	Japan	●
93	シンポジウム	矢野数馬	YANO Kazuma	日本	Japan	●
94	シンポジウム	原田大三郎	HARADA Daizaburo	日本	Japan	●

見どころ

見どころ 1 多様な映像メディアによって「映像体験」の可能性を考える

恵比寿映像祭は映像とアートに特化したユニークなフェスティバルです。第 10 回を迎える今回は、映像メディアの多様性を紹介し、映像体験の可能性を再考します。構造映画の代表的作家ポール・シャリツ(アメリカ)による、メディアアート史においても重要な 16 ミリフィルム・インスタレーションとライブ上映から、最新の映像規格 8K をめぐるシンポジウムと参考上映展示まで、幅広い映像体験をお届けします。そのほか上映では、日本のアングラ映画の代表格、岡部道男の 16 ミリフィルム特集、展示では、新進気鋭の永田康祐によるコンピュータのデスクトップ上が映像に変容する《Sierra》、スッティラット・スパパリンヤ(タイ)によるマルチ・チャンネルによる映像と光のインスタレーションなどが展開されます。



1 【展示】ポール・シャリツ《Shutter Interface》【→p.10】

1

2 【展示】スッティラット・スパパリンヤ《東京の10ヶ所》【→p.11】

3 【展示】永田康祐《Sierra》【→p.10】

4 【上映】10, 11「岡部道男特集——アンダーグラウンドとキャンプ」より【→p.15】

5 【シンポジウム】C.「[日仏会館共催企画] 映像のヴィジブル/インヴィジブル——8K 映像の可能性」【→p.18】



4



5

見どころ 2 注目の海外作家や、国内新進作家による新作や大型インスタレーション

フランス人映像アーティストと日本人歴史研究者との国際コラボレーションである、ナターシャ・ニジック(フランス) & 基丸謙(恐山)は、「イタコ」の半生を軸にした新作の世界初公開。断片的なフッターや音声によって全体像を紡ぎ出す手法で近年国際的に評価されるジェームス・リチャーズ(イギリス/ドイツ)がインスタレーションを発表。また、コンセプチュアルな方法論で美術史をユーモラスに横断する、ベルリンを拠点とするジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ(アメリカ/ドイツ、日本/ドイツ)、幼虫の成長過程を「メタ・ドキュメンタリー」として描く青柳菜摘、カメラの運動性を基軸とする手法で映像を発表する高嶋晋一+中川周など、注目の新進作家が多数出品します。



1 【展示】ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ《無題》【→p.11】

1

2 【展示】ジェームス・リチャーズ《夜のラジオ》【→p.11】

3 【展示】ナターシャ・ニジック&基丸謙《恐山》【→p.11】

4 【展示】青柳菜摘《孵化日記 タイワン》【→p.11】

5 【展示】高嶋晋一+中川周《standstill》【→p.11】



4



5

見どころ

見どころ 3 社会の中の見えない関係をとらえる

社会と個人や、時間、空間などそれぞれのあいだにある見えない関係を、作品を通して考えます。展示では、マルティーン・シムズ(アメリカ)による、「黒人らしさ」のイメージを集めたビデオシリーズ《レッスンズ I-XXX》、20世紀初頭のイギリスで少女たちが妖精を写しその真偽をめぐる世界を揺るがす大騒動に発展した「コティングリー妖精写真」と関連資料などが登場。上映では、心の健康や病気に関わる世界初の映画祭ランデヴー・ウィズ・マッドネス(カナダ)からのセレクションや、先天性全盲の加藤秀幸が監督する短編映画とその制作プロセスを追ったドキュメンタリー《ナイトクルージング》を紹介。さらに、国際シンポジウムでは、文化と政治の観点から現代の「不可視性(インヴィジブル)」について考察するなど、様々な角度から社会の中の見えない関係を提示します。



3



4



5

- 1 【展示】 マルティーン・シムズ《レッスンズ I-CLXXX》【→p.11】
- 2 【上映】 13「《ナイトクルージング》Yebizo 特別版(ライブ音声解説付) 上映&スペシャルーク」より【→p.16】
- 3 【上映】 8「頭の中の声——見えないものとのランデヴー ランデヴー・ウィズ・マッドネス映画祭セレクション」より【→p.14】
- 4 【シンポジウム】 A「国際シンポジウム 不可視性について」【p.18】
- 5 【展示】 コティングリー妖精写真および関連資料 撮影者不詳《赤ちゃんの上を飛ぶ妖精たち》【→p.10】

見どころ 4 多数のアジアプレミア、ジャパンプレミア作品、世界的に注目される国際映画祭のリンク・プログラム、日本の1960~70年代に注目した特集など、多彩な作品が集う上映プログラム

上映プログラムでは、多数のアジアプレミア、ジャパンプレミア作品が登場。新鋭映画監督ミディ・ジー(台湾)がミャンマーの労働者を描いた長編と短編、「アラブの春」を背景にカルト的人物アラン・ビショップのバンドをめぐる日々を追う《ザ・インヴィジブル・ハンズ》、1990年代の大学生たちの休暇を描く実験コメディ《エル・フォー・レジャー》など多彩な作品が揃います。また、現在注目の国際的映画祭と連携し、ロッテルダム国際映画祭のプログラマー、ジュリアン・ロス(イギリス/オランダ)による短編プログラム、ミャンマーの映画人の登竜門、ワットン映画祭の短編集、カナダのランデヴー・ウィズ・マッドネス映画祭セレクションを日本初公開。特集では、日本の実験映画、ビデオアートのパイオニア的存在、出光真子の作品などを上映し、日本の1960~70年代に注目します。



1



2



3



4



5

- 1 【上映】 3「ザ・インヴィジブル・ハンズ—アラブの春とアラン・ビショップ、そしてまた歌が始まる」より【→p.12】
- 2 【上映】 6「ジェイ・チュン&キュー・タケキ・マエダ関連プログラム レヴ・カルマン&ウィットニー・ホーン《L for Leisure》」より【→p.13】
- 3 【上映】 7「ミャンマー・インディ映画の新しい波 ワットン映画祭セレクション」より【→p.14】
- 4 【上映】 2「透かしみる 2——舞台裏」より【→p.12】
- 5 【上映】 5「不可視であるなら、私が」。出光真子おんなのさくひん」より【→p.13】

| NEWS 1 | **映像史とメディアアート史を横断する最重要作品
ポール・シャリッツによる 16 ミリフィルム・インスタレーションが日本初上陸**



展示 **ライブ・イベント**

構造映画の代表的作家、ポール・シャリッツ(アメリカ)の作品が展示【→p.10】とライブ・イベント【→p.17】に登場。展示では、メディアアート史でも重要な、16 ミリフィルムの 4 面インスタレーションが日本初上陸。その再現に関わってきた、アンソロジー・フィルム・アーカイブスのアーキヴィスト、ジョン・クラックスマンが来日し、映像の収集保存をめぐるシンポジウム【→p.18】に登壇します。シャリッツのフィルム作品の上映を含むライブ・イベントも開催します。

| NEWS 2 | **インターネットアートで世界をみつめるラファエル・ローゼンダールの
動く絵画作品「レンチキュラー・ペインティング」が登場**



展示

デジタルから着想を得ながら日常の中にある素材へと表現を拡張し、インターネットアートで独自の世界を築いてきたラファエル・ローゼンダール(オランダ)。出品作の「レンチキュラー・ペインティング」は、見る角度によって画像が動く平面作品です【→p.10】。2018 年 2 月より十和田市現代美術館で日本で初めての公立美術館での個展を行うローゼンダール。現代のデジタル化した日常にうごめく感覚に新しい光をあてる作品をどうぞご体感ください。

| NEWS 3 | **シリア北部コバニに住んでいた少年が、戦禍を逃れる時の体験を
身振りで淡々と伝える、エルカン・オズケンの映像作品が問いかけるもの**



展示

2014 年 9 月に ISIS(アイシス)が攻撃を開始したシリア北部コバニ。そこで暮らしていた、耳が聞こえず口のきけない 13 歳の少年が、トルコへ逃れる時に目撃した事実と自らのトラウマを強い身振りで淡々と伝える、エルカン・オズケン(トルコ)の《ワンダーランド》【→p.11】。第 15 回イスタンブール・ビエンナーレで話題を呼んだ本作を展示します。彼の身振りだけが映し出される映像は、見るものに何を伝えるのでしょうか。

| NEWS 4 | **多様なメディアを用いて「映画」「映像」「見ること」の仕組みや背景を
描き出してきた、SHIMURAbros の新作を日仏会館ギャラリーで展示**



展示

SHIMURAbros(シムラブロス)は、映像の物質性や映し出されるものの裏にある撮影装置の機構など、多様なメディアを用いながら常に「映画」や「映像」、「見ること」をめぐる、その仕組みや技術、背景となる思想を描き出してきました。国際的に活躍する姉弟によるアートユニットの新作と近作を個展形式で紹介【→p.16】。端正な空間をめぐりながら映像の原理をぜひ探訪ください。

| NEWS 5 | **世界的に注目される新鋭映画監督ミディ・ジーのジャパンプレミア作品を上映**



上映

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2017 で特別賞を受賞した新鋭映画監督ミディ・ジー(ミャンマー/台湾)。第 69 回ロカルノ国際映画祭で発表された、故郷ミャンマーを描いた日本未公開のドキュメンタリー長編作品を上映。あわせて、新作とも連動する短編映画を紹介し、見えない国境や労働者をあぶりだすミディ・ジーの挑戦の軌跡を辿ります【→p.13】。

| NEWS 6 | 恵比寿ガーデンプレイス センター広場に、行為と音と現象で「インヴィジブル」を伝える、invisible designs lab.による屋外作品が出現



オフサイト展示

屋外の恵比寿ガーデンプレイス センター広場では、「音」という見えないメッセージと「アイデア」を可視化するため、多岐にわたる活動を行う作家集団 invisible designs lab.が、《予言》と題したインスタレーションを出現させます。行為と音と現象が、テレパシーのごとく何らかのメッセージを感じさせます【→p.17】。

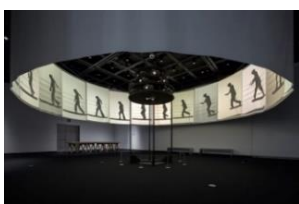
| NEWS 7 | 最新の映像規格、8K 技術の可能性を探るシンポジウムと参考上映展示



シンポジウム

冬季オリンピック平昌大会と同時期開催の第10回恵比寿映像祭。フルハイビジョン映像の16倍の解像度をもつ、最新の映像規格8Kは、2018年12月の本放送、2020年のオリンピック、パラリンピックでの本格放送に向けて動きをみせています。映像技術が拡張されることで、何が見えるようになり、見えなくなるのでしょうか。8Kが拓く可能性を、シンポジウムで探ります【→p.18】。※参考上映展示あり。

| NEWS 8 | 映像の収集保存をめぐる国際連携シンポジウムで、ニューヨーク近代美術館、アンソロジー・フィルム・アーカイヴス、当館の事例から最新の議論を紹介



シンポジウム

映像作品など時間体験に基づく芸術作品を指す「タイムベースド・メディア」。その収集保存をテーマに国際連携シンポジウムを行ないます。テクノロジーの発展でメディアフォーマットが乱立する一方、メディアの経年劣化に伴う再現性が問われている近年、特に関心が集まるこのテーマについて、ニューヨーク近代美術館、アンソロジー・フィルム・アーカイヴス、当館の事例から、最新の実践に基づく議論を紹介します【→p.18】。

| NEWS 9 | ポール・シャリッツ、宮井陸郎によるエクспанデッド・シネマ(拡張映画)の代表作の再現から、大城真による現代の試みまで加えた究極の実験ライブ



ライブ・イベント

1960年代から70年代を中心に活発化したエクспанデッド・シネマ(拡張映画)は、既存の枠を越えて新しい映像体験をうみだしてきました。ライブ・イベントでは、ポール・シャリッツ(アメリカ)と宮井陸郎による、エクспанデッド・シネマの代表作を再現すると同時に、音楽家・美術家、大城真による現代の試みを加えた、音と光が交差する究極の実験ライブが実現します【→p.17】。

| NEWS 10 | 2018年2月、映像やアートの国際フェスティバルに沸く東京 10周年を迎える映像祭は、地域と世界を双方向につなぎ映像文化を発信



地域連携プログラム 地域発信プロジェクト

会期中は恵比寿地域の文化施設やギャラリーで多数の連携企画「地域連携プログラム」【→p.19】を実施。そのほか、東京都・恵比寿から発信する「地域発信プロジェクト: YEBIZO MEETS」【→p.19】を東京都写真美術館 1F スタジオで行います。また、2018年2月は多数の映像やアートの国際フェスティバルが開催されます。「デジタル・ショック」「TPAM 国際舞台芸術ミーティング in 横浜」「メディア・アンビション・トウキョウ」、初開催の「MeCA | Media Culture in Asia: A Transnational Platform」など、東京の魅力が高まる1か月をどうぞお楽しみください。

展示 | 東京都写真美術館 3F・2F・B1F 展示室

TALK 作家によるラウンジトークあり

SCREENING 関連上映あり

LIVE 関連ライブ・イベントあり

ラファエル・ローゼンダール

Rafaël ROZENDAAL



《Into Time 15 05 02》2015
 レンチキュラーに木枠／個人蔵
Into Time 15 05 02, 2015
 Lenticular print with wooden frame /
 Private Collection
 ©Rafaël Rozendaal
 Courtesy of Takuro Someya Contemporary
 Art Photo: Ken Kato

TALK

ポール・シャリッツ

Paul SHARITS



《Shutter Interface》1975
 4 スクリーン・フィルム・
 インスタレーション
Shutter Interface, 1975
 Four-screen film installation
 Courtesy of the Estate of Paul
 Sharits, and Anthology Film
 Archives, New York, and
 Greene-Naftali Gallery

LIVE

ガブリエル・エレラ・トレス

Gabriel HERRERA TORRES



《適切な運動による神への
 近寄り方》2016
 シングルチャンネル・ビデオ／
 作家蔵
*How to Reach God Through
 Proper Exercising*, 2016
 Single-channel video /
 Collection of the artist

永田康祐

NAGATA Kosuke



《Sierra》2017
 ミクストメディア／作家蔵
 [参考図版]
Sierra, 2017
 Mixed media / Collection of the
 artist [related image]

TALK

mamoru

mamoru



《あり得た(る)かもしれないその
 歴史を聴き取ろうとし続けるある
 種の長い旅路、特に日本人や
 オランダ人、その他もろもろに
 関して:第二章:(ジ)ヤパニーズ
 のお辞儀》2017
 HD ヴィデオ／作家蔵[参考図版]
*a long listening journey of
 a Possible thiStory especially of
 Japanese & Dutch & something
 more: Chapter 2, The Art of
 Japanese Bowing*, 2017
 HD video / Collection of the artist
 [related image]
 Courtesy of Yuka Tsuruno Gallery

LIVE

コティングリー妖精写真および関連資料

The Cottingley Fairy Photographs and
 Related Materials

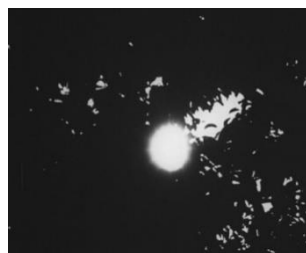


撮影者不詳《赤ちゃんの上を飛ぶ
 妖精たち》撮影年不詳、神智学者
 エドワード・L・ガードナーの遺品より/
 ゼラチン・シルバー・プリント/
 井村君江蔵
 Photographer unknown,
Fairies on a Baby, Year unknown,
 from the Estate of theosophist Edward L.
 GARDNER / Gelatin silver print /
 Collection of Imura Kimie
 Courtesy of Imura Kimie and the Fairy
 Society

TALK

出光真子

IDEMITSU Mako



《At Yukigaya 2》1974
 シングルチャンネル・ビデオ
 (オリジナル:16 ミリフィルム) /
 東京都写真美術館蔵
At Yukigaya 2, 1974
 Single-channel video (orig. 16mm
 film) / Collection of Tokyo
 Photographic Art Museum

SCREENING

展示 | 東京都写真美術館 3F・2F・B1F 展示室

ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ

Jay CHUNG & Q Takeki MAEDA

SCREENING



《無題》2015 / HD ヴィデオ
(オリジナル:スーパー16 ミリフィルム) / レヴ・カルマン & ウィットニー・ホーン監督(ビデオスタイル) / 作家蔵

Untitled, 2015 / HD video (orig. Super 16mm film) / Directed by Lev Kalman and Whitney Horn (video still) / Collection of the artists
Courtesy of the artists and Galerie Francesca Pia

清野賀子

SEINO Yoshiko



《空き地、東京》
(「The Sign of Life」より) 2001
発色現像方式印画 /
東京都写真美術館蔵
A Vacant Plot Tokyo
from “The Sign of Life,” 2001
Chromogenic print / Collection of
Tokyo Photographic Art Museum

青柳菜摘

AOYAGI Natsumi



《孵化日記 タイワン》2016
インスタレーション / 作家蔵
[参考図版]
Incubation Diary TAIWAN, 2016
Installation / Collection of
the artist [related image]
Photo: WADA Shintaro

TALK

ジェームス・リチャーズ

James RICHARDS



《夜のラジオ》2015
シングルチャンネル・ヴィデオ
Radio at Night, 2015
Single-channel video
Courtesy of the artist and LUX,
London; Cabinet, London;
Isabella Bortolozzi, Berlin; and
Rodeo, London

高嶋晋一+中川周

TAKASHIMA Shinichi + NAKAGAWA Shu

TALK



《standstill》2017
HD ヴィデオ / 作家蔵
standstill, 2017
HD video /
Collection of the artists

横溝静

YOKOMIZO Shizuka



《PRAYER》2007
シングルチャンネル・ヴィデオ /
作家蔵
PRAYER, 2007
Single-channel video /
Collection of the artist
Courtesy of Wako Works of Art

ナターシャ・ニジック&葦丸謙

Natacha NISIC & DAIMARU Ken

TALK



《恐山》2017
3チャンネル・ヴィデオ・
インスタレーション / 作家蔵
Ososesan, 2017
3-channel video installation
Collection of the artists

マルティーンヌ・シムズ

Martine SYMS

TALK



《レッスンズ I-CLXXX》2014-
30秒のヴィデオシリーズ /
作家蔵[参考図版]
Lessons I-CLXXX, 2014-
Series of 00:00:30 videos /
Collection of the artist [related
image]
Courtesy of the artist and
Bridget Donahue

スツティラット・スパパリンヤ

Sutthirat SUPAPARINYA

TALK



《東京の10ヶ所》2016
インスタレーション / 作家蔵
[参考図版]
10 places in Tokyo, 2016
Installation / Collection of the
artist
Courtesy of the artists and
Gallery Ver

エルカン・オズケン

Erkan ÖZGEN



《ワンダーランド》2016
シングルチャンネル・ヴィデオ /
作家蔵
Wonderland, 2016
Single-channel video /
Collection of the artist
Courtesy of the artist and
Zilberman Gallery

上映 | 東京都写真美術館1F ホール

Q&A Q&A 付き上映回あり。| 各図版キャプションは■のとおり。

JP ジャパンプレミア AP アジアプレミア

1 透かしみる 1 ——ピクセルの裏側

See Through 1: Behind the Pixels



Q&A JP

□ライナー・コールベルガー《ノット・イーヴン・ナッシング・キャン・ビー・フリー・オブ・ゴースツ》Rainer KOHLBERGER, *not even nothing can be free of ghosts*

2016/11分

□イズマイル・バリ《フォイヤー》Ismaïl BAHRI, *Foyer*

2016/32分/アラビア語チュニジア方言(日本語・英語字幕付)

Dialogue in Tunisian Arabic (with Japanese and English subtitles)

□ヨナ・キナ《アレンジメント・フォー・ア・シーン》Jonna KINA, *Arr. for a Scene*

2017/5分17秒 Distributed by AV-arkki

□セバスチャン・バークナー《Weresheglanspertheere》

Sebastian BUERKNER, *Weresheglanspertheere*

2014/5分17秒/英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

□リサ・オッペンハイム《ヘレディタリー・ランゲージ》

Lisa OPPENHEIM, *Hereditary Language*

2015/10分/英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

■ジェームス・N・キニツ・ウィルキンス《ビー・ロール・ウィズ・アンドレ》

James N. Kienitz WILKINS, *B-ROLL with Andre*

2015/18分30秒/英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

【ゲスト・プログラマー:ジュリアン・ロス(ロッテルダム国際映画祭、ウエストミンスター大学)】

[Guest Programmer: Julian ROSS (International Film Festival Rotterdam, University of Westminster)]

2 透かしみる 2 ——舞台裏

See Through 2: Behind the Scenes



Q&A JP

□ダニエル・ジャコビー、荒木悠《マウンテン・プレイン・マウンテン》

Daniel JACOBY and ARAKI Yu, *Mountain Plain Mountain*

2018/21分33秒/日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

■メーヴ・ブレンナン《ザ・ドリフト》Maeve BRENNAN, *The Drift*

2017/50分29秒/アラビア語(日本語・英語字幕付)

Dialogue in Arabic (with Japanese and English subtitles)

【ゲスト・プログラマー:ジュリアン・ロス】 [Guest Programmer: Julian ROSS]

3 ザ・インヴィジブル・ハンズ——アラブの春とアラン・ビショップ、そしてまた歌が始まる

The Invisible Hands

AP

■マリナ・ヨティ(ジョルジュ・サラメとの共作)《ザ・インヴィジブル・ハンズ》

Marina GIOTI (with Georges SALAMEH), *The Invisible Hands*

2017/93分/英語、アラビア語(日本語・英語字幕付)

Dialogue in English and Arabic (with Japanese and English subtitles)

上映 | 東京都写真美術館1F ホール

4 ミディ・ジーが描くミャンマーの労働者

Workers of Myanmar revealed by Midi Z


 ミディ・ジー《マイ・フォークス・イン・ジェイド・シティ》Midi Z, *My Folks in Jade City*

2015 / 18分40秒

 ミディ・ジー《リターン・トゥ・ビルマ》Midi Z, *Return to Burma*

2011 / 84分 / ビルマ語・中国語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese and Chinese (with Japanese and English subtitles)

JP

5 不可視であるなら、私が。出光真子おんなのさくひん

If invisible, I visualize. Works by Idemitsu Mako


 《WOMAN'S HOUSE》 *WOMAN'S HOUSE*

1972 / 13分40秒

 《おんなのさくひん》 *what a woman made*

1973 / 11分

 《INNER MAN》 *INNER MAN*

1972 / 3分40秒

 《主婦の一日》 *Another Day of a Housewife*

1977 / 9分50秒 / 日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

 《SOMETHING WITHIN ME》 *SOMETHING WITHIN ME*

1975 / 9分30秒

 《英雄チャン、ママよ》 *Hideo, It's Me, Mama*

1983 / 27分 / 日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

 《AT SANTA MONICA 3》 *AT SANTA MONICA 3*

1975 / 15分30秒

Q&A

【ゲスト・プログラマー:服部かつゆき(映像作家)】 [Guest Programmer: HATTORI Katsuyuki (Video Artist)]

6 ジェイ・チュン&キョウ・タケキ・マエダ関連プログラム

レヴ・カルマン&ウィットニー・ホーン《L for Leisure》

Jay CHUNG & Q Takeki MAEDA Related Program Lev KALMAN & Whitney HORN, *L for Leisure*
 レヴ・カルマン&ウィットニー・ホーン《エル・フォー・レジャー》
Lev KALMAN & Whitney HORN, *L for Leisure*

2014 / 74分 / 英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

JP

上映 | 東京都写真美術館1F ホール

Q&A Q&A 付き上映回あり。| 各図版キャプションは■のとおり。

JP ジャパンプレミア AP アジアプレミア

7 ミャンマー・インディ映画の新しい波——ワットン映画祭セレクション

New Wave of Myanmar Independent Cinema: Selected Films from Wathann Film Festival



□ トゥーパインゾーオー《ロング・タイム・ノー・シー》

Htoo Paing Zaw Oo, *Long Time No See*

2012/9分13秒/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

□ シンデーウェー《テイク・ミー・ホーム》 Shin Daewe, *Take Me Home*

2013/20分/カチン語、ビルマ語(日本語・英語字幕付)

Dialogue in Kachin and Burmese (with Japanese and English subtitles)

□ ゴーモーアウン《ネクスト・マンス》 Soe Moe Aung, *Next Month*

2013/4分/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

□ ラミンウー《ホームワーク》 Lamin Oo, *Homework*

2014/8分48秒/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

■ アウンミン&テン・メン《マウティン・ジェティー》 Aung Min and Ten Men, *Mawtin Jetty*

2015/14分58秒/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

□ FAMU ワークショップ・チーム《ヤンゴン・ミッドナイト》(オムニバス)

FAMU Workshop Team, *Yangon Midnight* (omnibus)

2016-17/26分/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

□ アウトウ《ノー・フィア・フォー・ミステイクス》 Aung Thu, *No Fear For Mistakes*

2017/30分/ビルマ語(日本語・英語字幕付) Dialogue in Burmese (with Japanese and English subtitles)

Q&A JP

[リンク:ワットン映画祭/ゲスト・プログラマー:清恵子] [Link: Wathann Film Festival / Guest Programmer: SEI Keiko]

8 頭の中の声——見えないものとのランデヴー ランデヴー・ウィズ・マッドネス映画祭セレクション

Voices in Our Heads: Rendezvous with the Invisible Selection by Rendezvous with Madness Film Festival



■ スティーヴ・サンゲドルチェ《知らない土地》

Steve SANGUEDOLCE, *Land of Not Knowing*

2016/72分/英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

□ クレア・ランドル《ウルフ》 Claire RANDALL, *Wolfe*

2016/15分55秒/英語(日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)

Q&A AP

[リンク:ランデヴー・ウィズ・マッドネス映画祭/ゲスト・プログラマー:スコット・ミラー・ベリー]

[Link: Rendezvous with Madness Film Festival / Guest Programmer: Scott MILLER BERRY]

9 DigiCon6 ASIA——ショートムービーから見えてくるアジア

DigiCon6 ASIA 19th Selection

□ 陳希《羽が欲しい》 Xi CHEN, *I want...*

2017/2分8秒

□ ドナ・マケリラ・パルサ《ダード》 Donna Mekerira PARTHA, *Dado*

2017/3分37秒

□ 浅野陽子《すみっこのこ》 ASANO Yoko, *My secret school days*

2017/4分6秒/日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

Q&A

上映 | 東京都写真美術館1F ホール

ヒーハー・プロダクション・リミテッド《パッシング・レイン》

Hehaaa production ltd., *Passing Rain*

2017/6分

やまだみのり《たべたいマイハニー》 YAMADA Minori, *Yummy Hunny Bunny*

2017/7分10秒

インフィニティ・デジタル・クリエーション・リミテッド《ラビッシュ・ロボット》

Infinity Digital Creation Limited, *Rubbish Robot*

2017/4分30秒

矢野ほなみ《染色体の恋人》 YANO Honami, *Chromosome Sweetheart*

2017/4分55秒 / 日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

ウォン・ジン・ヤオ、タン・リー・ハオ、コン・ウェイ・チェン、ウーン・チー・カイ(ヨール

プロダクション)《ザ・クリフハウス》 WONG Jin Yao, TAN Lih Haur, KONG Wei Cheng,

WOON Chee Khai (Yore Production), *The Cliff House*

2017/8分16秒

■ キューライス《鴨が好き》 Q-rai, *I like ducks*

2017/7分40秒 / 日本語(英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)

フライチーム《フライ》 FLY team, *FLY*

2017/4分25秒

イ・ジョンフン《ザ・スターリー・ナイト》 LEE jonghoon, *The starry night*

2017/9分5秒

スタジオ・イクソラス・プロダクションズ・プライベート・リミテッド

《トークリ(ザ・バスケット)》 STUDIO EEKSAURUS PRODUCTIONS PVT. LTD.,
TOKRI (THE BASKET)

2017/13分46秒

[リンク: DigiCon6 ASIA / ゲスト・プログラマー: 山田亜樹] [Link: DigiCon6 ASIA / Guest Programmer: YAMADA Aki]

10, 11 岡部道男特集——アンダーグラウンドとキャンプ [16ミリフィルム上映]

OKABE Michio: Underground and Camp [16mm film screening]



10

■ 《クレイジー・ラブ》 *Crazy Love*

1968/93分 / 日本語 Dialogue in Japanese

11

岡部道男特集 上映+スペシャルトーク [16ミリフィルム上映]

OKABE Michio Screening and Special Talk [16mm film screening]

《天地創造説》 *Tenchi Sozosetsu*

1967/26分 / 日本語 Dialogue in Japanese

《貴夜夢富(キャンプ)》 *Camp*

1970/44分 / 日本語 Dialogue in Japanese

ゲスト: 岡部道男(監督) / 鈴木章浩(映像作家)

Q&A

上映 | 東京都写真美術館1F ホール

Q&A Q&A 付き上映回あり。| 各図版キャプションは■のとおり。

12 《略称・連続射殺魔》[35ミリフィルム上映]

A.K.A. SERIAL KILLER [35mm Film Screening]



■ 足立正生、岩淵進、野々村政行、山崎裕、佐々木守、松田政男《略称・連続射殺魔》
ADACHI Masao, IWABUCHI Susumu, NONOMURA Masayuki, YAMAZAKI Yutaka,
SASAKI Mamoru and MATSUDA Masao, A.K.A. SERIAL KILLER

1969/86 分/日本語 Dialogue in Japanese

Courtesy of Asia Culture Center

Q&A

13 《ナイトクルージング》Yebizo 特別版(ライブ音声解説付)上映&トスペシャルーク

Night Cruising Yebizo Special Edition Screening (with Live Audio Commentary) & Special Talk



■ 佐々木誠《ナイトクルージング》Yebizo 特別版

SASAKI Makoto, *Night Cruising Yebizo* Special Edition

2018/尺未定 Duration TBC/日本語 Dialogue in Japanese

ゲスト:佐々木誠(監督)/加藤秀幸(出演)/田中みゆき(プロデューサー)

Q&A

展示 | 日仏会館ギャラリー

SHIMURAbros(シムラブロス)——未だ見えぬ映画に向かって

SHIMURAbros: Towards Film Beyond Film



日時:平成 30 年 2 月 9 日(金)~2 月 25 日(日) 10:00-20:00(最終日は 18:00 まで)
会場:日仏会館ギャラリー

SHIMURAbros《映画なしの映画 - 創造的地理》2010

アクリル台座にマルエージ鋼(5点組)/作家蔵[参考図版]

SHIMURAbros, *FILM WITHOUT FILM - Creative Geography*, 2010

Maraging steels (set of 5) on acrylic pedestal / Collection of the artists [related image]

Courtesy of Tokyo Gallery + BTAP

ライブ・イベント | ザ・ガーデンルーム

I. mamoru ライヴ・パフォーマンス:あり得た(る)かもしれないその歴史を聴き取ろうとし続ける

ある種の長い旅路、特に日本人やオランダ人その他もろもろに関して

A live performance by mamoru: a long listening journey of a Possible thiStory especially of Japanese & Dutch & something more



日時:平成 30 年 2 月 23 日(金) 18:30-20:30(開場 18:00) 会場:ザ・ガーデンルーム

mamoru「あり得た(る)かもしれないその歴史を聴き取ろうとし続けるある種の長い旅路、特に日本人やオランダ人その他もろもろに関して」シリーズより、第 5 章《becomings/投げ出された身体》2017

mamoru, The fifth chapter: *Becomings*, from “a long listening journey of a Possible thiStory especially of Japanese & Dutch & something more” series, 2017

Courtesy: Yuka Tsuruno Gallery, Tokyo

ライブ・イベント | ザ・ガーデンルーム

II. エクспанデッド・シネマ・パフォーマンス: Beyond the Frame

Expanded Cinema Performance: Beyond the Frame



日時:平成 30 年 2 月 24 日(土)18:30-20:30(開場 18:00) 会場:ザ・ガーデンルーム

上映作品(16 ミリフィルム):ポール・シャリッツ、宮井陸郎

パフォーマンス:宮井陸郎(映像作家)、大城真(音楽家、美術家)

※パフォーマンス後に宮井陸郎と平沢剛によるトークがあります。

宮井陸郎《シャドウ》(シカゴ美術館におけるパフォーマンス風景)2017

MIYAI Rikuro, *Shadow*, Performance view at the Art Institute of Chicago, 2017

オフサイト展示 | 恵比寿ガーデンプレイス センター広場

invisible designs lab.《予言》

invisible designs lab., *Medium*



日時:平成 30 年 2 月 9 日(金)~2 月 25 日(日)10:00-20:00(最終日は 18:00 まで)

会場:恵比寿ガーデンプレイス センター広場

invisible designs lab.《予言》(オフサイト展示に向けた新作のイメージ)2017

invisible designs lab., *Medium*, image for new Off-site Project artwork, 2017

ラウンジトーク | 東京都写真美術館2F ロビー

- a. マルティーン・シムズ(展示出品作家)
2.9(金)13:45-14:45
- b. ナターシャ・ニジック&葦丸謙
(展示出品作家) | 2.9(金)17:15-18:15
- c. SHIMURAbros(展示出品作家)
2.11(日)13:45-14:45
- d. スッティラット・スパパリンヤ
(展示出品作家) | 2.11(日)17:15-18:15
- e. ラファエル・ローゼンダール
(展示出品作家) | 2.12(月・祝)17:15-18:15
- f. [コティングリー妖精写真および
関連資料]井村君江(明星大学
名誉教授)／浜野志保(千葉工業
大学准教授) | 2.17(土)13:45-14:45
- g. 永田康祐(展示出品作家)
2.18(日)13:45-14:45
- h. 高嶋晋一+中川周(展示出品作家)
2.18(日)17:15-18:15
- i. [地域連携プログラム MA2 Gallery]
松原健(美術家)／
飯沢耕太郎(写真評論家)
2.21(水)17:15-18:15
- j. 青柳菜摘(展示出品作家)
2.24(土)13:45-14:45
- k. invisible designs lab.
(オフサイト展示出品作家)／
木ノ下智恵子(キュレーター)
2.25(日)13:45-14:45



第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」ラウンジトークより
Lounge Talk, The Yebisu
International Festival for Art &
Alternative Visions 2017: Multiple
Future
Courtesy of Tokyo Photographic Art
Museum

シンポジウム | 東京都写真美術館1F ホール

A. 国際シンポジウム 不可視性について

International Symposium: On Invisibility



日時:平成 30 年 2 月 10 日(土)15:00-17:00 会場:東京都写真美術館 1F ホール *日英同時通訳付
 パネリスト:**ジェイ・チュン&キュウ・タケキ・マエダ**(出品作家、アーティスト) / **清恵子**(ゲスト・プログラマー、キュレーター) / **白石嘉治**(フランス文学者)
 モデレーター:**田坂博子**(恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員)
 協力:ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター

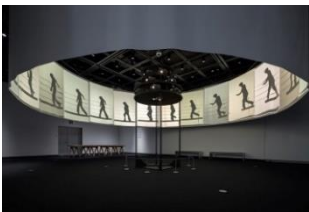
第 10 回恵比寿映像祭プレ・イベント 国際シンポジウム
 Pre-Festival International Symposium, The Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2018
 Courtesy of Tokyo Photographic Art Museum

B. [コラボラティブ・カタロギング・ジャパン(CCJ)共催企画]

国際連携シンポジウム タイムベースド・メディアの収集保存

——ニューヨーク近代美術館、アンソロジー・フィルム・アーカイヴス、東京都写真美術館の事例から

Internationally Coordinated Symposium: The Collection and Preservation of Time-Based Media,
 with Case Studies from The Museum of Modern Art, New York, Anthology Film Archives,
 and Tokyo Photographic Art Museum [Co-organized by Collaborative Cataloging Japan (CCJ)]



日時:平成 30 年 2 月 10 日(土)18:00-20:00 会場:東京都写真美術館 1F ホール *日英同時通訳付
 パネリスト:**ジョン・クラックスマン**(アンソロジー・フィルム・アーカイヴス・アーキヴィスト) /
ピーター・オレクシク(ニューヨーク近代美術館アソシエイト・メディアコンサバター) /
田中信至(映像音響技術者) | 司会:**足立アン**(コラボラティブ・カタロギング・ジャパン・ディレクター)
 モデレーター:**田坂博子**(恵比寿映像祭ディレクター、東京都写真美術館学芸員)
 助成:公益財団法人テルモ生命科学芸術財団

シュウゾウ・アヅチ・ガリバー《シネマティック・イルミネーション》1968-69 / 東京都写真美術館蔵
 (「エクспанデッド・シネマ再考」展、2017 より)
 Shūzō Azuchi Gulliver, *Cinematic Illumination*, 1968-69, Exhibited at 'Japanese Expanded Cinema Revisited,' (2017)
 Collection of Tokyo Photographic Art Museum

シンポジウム | 日仏会館ホール

C. [日仏会館共催企画] 映像のヴィジブル／インヴィジブル——8K 映像の可能性

The Visible/Invisible Image: The Possibilities of 8K Projection [Co-organized by the Maison franco-japonaise]



日時:平成 30 年 2 月 15 日(木)18:00-20:00 会場:日仏会館 1F ホール
 パネリスト:**落合淳**(NHK 制作局 8K 制作事務局チーフ・プロデューサー) / **三浦篤**(東京大学総合文化研究科教授、日仏会館) / **矢野数馬**(関西テレビ制作技術局制作技術センター専任部長) /
原田大三郎(映像作家、多摩美術大学情報デザイン学科教授)
 司会:**遠藤みゆき**(恵比寿映像祭アシスタント・キュレーター、東京都写真美術館学芸員)

8K 映像撮影の様子 《つくるということ》2017 より
 8K shooting conditions from *to make*, 2017



【参考上映展示】
 日時:平成 30 年 2 月 9 日(金)~2 月 18 日(日)10:00-20:00(※2 月 13 日(火)休)
 会場:日仏会館 2F ギャラリー前

《つくるということ》2017 / 14 分 / 8K・HDR、サウンド、カラー
 企画制作:関西テレビ放送
 展示協力:シャープ株式会社 70V 型 8K 映像モニター<LV-70002>

《つくるということ》2017 より
 from *to make*, 2017

地域発信プロジェクト | 東京都写真美術館1F スタジオ



東京都写真美術館 1F スタジオが緩やかなフェスティバル・サロンとなります。
東京都・恵比寿から発信する「地域発信プロジェクト: YEBIZO MEETS」や、恵比寿映像祭 10 周年記念アーカイブ・コーナーが展開されます。
※詳しい情報は、会期中に設置される「YEBIZO MEETS」チラシをご覧ください。

第9回恵比寿映像祭「マルチプルな未来」 地域発信プロジェクトより[参考図版]
Partnership Project, Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2017: Multiple Future [related image]
Courtesy of Tokyo Photographic Art Museum

地域連携プログラム | 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど



公益財団法人日仏会館 映像と講演「見えないフランス映画とその流れ
TMF 日仏メディア交流協会 —カテル・キレヴェレ《聖少女アンナ》」



YEBISU GARDEN CINEMA ぼくの名前はズッキーニ



伊東建築塾 ル・コルビュジエ全集 建築・都市・芸術



MA2 Gallery 小瀬村真美 林勇気 松原健——Recall



CAGE GALLERY WYSASSS——curated by Gottingham



Gallery 工房 親 相模智之「Behind Closed Doors」



MuCuL 有馬尚史「donkeys dance 紙の上のロバ」



NADiff a/p/a/r/t 吉増剛造展「火ノ刺繍」(仮)



G/P gallery G/P Collection みえざる差異



MEM 戸島麻貴展「imaginary lines」



LIBRAIRIE 6 林海象「夢みるように眠りたい」



AL | TRAUMARIS Out of Sinking——秋山さやか 荒木悠 荒井美波



NPO 法人アーツイニシアティブ 高川和也「映像上映+京都舞鶴リサーチ報告会」
トウキョウ [AIT/エイト]



LOKO GALLERY Displace Vol.1 清水玲「grassroots prophet」
イスラエル大使館 Vol.2 エイヤル・セーガル「GROUND LEVEL」

ガイドツアー

① フェスティバルの全体像を掴もうツアー [90分 / 日本語]

会場: 東京都写真美術館全フロア→センター広場→日仏会館ギャラリー | 日時: 2.12(月・祝) 11:30-13:00, 2.18(日) 11:30-13:00

② Full Festival Tour: English Version [90 min. / English]

※①を英語で案内するツアーです。 | Dates: 2.12 Mon. 15:00-16:30, 2.25 Sun. 11:30-13:00

③ TOPメイン会場ツアー [60分 / 日本語]

会場: 東京都写真美術館全フロア | 日時: 2.21(水) 19:00-20:00

④ TOP Museum Tour: English Version [60 min. / English]

※③を英語で案内するツアーです。 | Date: 2.22 Thu. 19:00-20:00

[参加方法]

- ・参加無料 / 各回定員 15名 / 整理券配布
- ・整理券はガイドツアー実施日の午前10時から東京都写真美術館 1F 総合受付にて当日分を配布します。

定員制プログラムのチケット情報

上映、ライブ・イベント、シンポジウムなど定員制のプログラムについては、前売券をチケットぴあで発売します。

一般発売: 平成30年1月6日(土) 午前10時

※各プログラムの日時は、チラシなどに記載のタイムテーブルをご確認ください。

※当日券は各日午前10時より先着順で販売します(上映/シンポジウム/ライブ・イベントは東京都写真美術館 1F 総合受付、日仏会館シンポジウムは日仏会館 1F ホール受付にて)。

※前売券は、各プログラム開催前日の正午まで販売します。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

前売券 購入方法 | チケットぴあ

(1) インターネット: <<http://w.pia.jp/t/yebizo>> ※PC・モバイル共通

(2) 電話予約: 0570-02-9999 (<<http://t.pia.jp/guide/orderbyphone.jsp>>)

(3) お近くの店頭直接申込み: <チケットぴあ、セブン-イレブン、サークルK・サンクス>

※(2)および(3)ご購入の際には、6ケタのPコードが必要になります。

※購入方法によってチケット代金以外に別途手数料(システム利用料、店頭引取利用料、発券手数料、ほか)がかかる場合がございます。詳細はチケットぴあのウェブサイトをご参照ください。

[受付座種]

- 上映** 東京都写真美術館 1Fホール / 自由席 / 入場整理番号付 / 各回定員入替 / 190名 / 15分前開場…………… [Pコード: 763-266]
- 1回券(日時指定) ¥500(前売) ¥1,000(当日)
- シンポジウム** 東京都写真美術館 1Fホール / 自由席 / 入場整理番号付 / 各回定員入替 / 190名 / 15分前開場… [Pコード: 763-267]
- A. 国際シンポジウム 不可視性について ¥350(前売) ¥600(当日)
- B. [コラボラティブ・カタロギング・ジャパン(CCJ)共催企画]
国際連携シンポジウム タイムベースド・メディアの収集保存 ¥350(前売) ¥600(当日)
- 日仏会館シンポジウム** 日仏会館ホール / 自由席 / 入場整理番号付 / 110名 / 15分前開場…………… [Pコード: 763-268]
- C. [日仏会館共催企画] 映像のヴィジブル / インヴィジブル——8K 映像の可能性 ¥350(前売) ¥600(当日)
- ライブ・イベント** ザ・ガーデンルーム / 自由席 / 入場整理番号付 / 150名 / 30分前開場…………… [Pコード: 763-269]
- I. mamoru ライブ・パフォーマンス ¥1,500(前売) ¥2,000(当日)
- II. エクスパンデッド・シネマ・パフォーマンス ¥1,500(前売) ¥2,000(当日)

お問い合わせ

- 本リリースで使用している写真を広報用画像としてご用意しております。ご希望のプレスの方は、
(1) ご希望画像の作品名 (2) 貴媒体名 (3) 掲載予定時期
を表記のうえ、下記のプレス担当者までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

プレスリリース・広報用画像・ご取材に関するお問い合わせ | 恵比寿映像祭プレス担当: 平(たいら)、大西(おおにし)
電話: 090-1149-1111(平) 090-9621-5235 (大西) / ファクス: 03-3468-8367 / E-mail: info@tmpress.jp

恵比寿映像祭に関するお問い合わせ | 恵比寿映像祭担当(東京都写真美術館): 柳生(やぎゅう)、印牧(いんまき)、堀江(ほりえ)
〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
電話: 03-3280-0076 / ファクス: 03-3280-0033 / E-mail: yebizo_press@topmuseum.jp

※報道・媒体関係者様に限らせていただきます。

※出品作品および出品作家など内容については変更する場合があります。予めご了承ください。